

る議案通過し、会費の兵し一躍五銭となり活動組織を整へ、かくて以後の関東方面の組合運動は同盟会が統制する事に成り、機関紙も発行する事になつた。そして其勢力も徐々に増大していつた。十一年七月の第一回大会には七組合が参加し、これに代表する組合員数は二千四百七十名であつたが、十二年七月の第二回大会には組合員九百を榮つたにもかゝらず、十三年十月の大会には十五組合と、六千五百名を有するに至つた。

然るに十三年十月五日の大会に於て、同年春同盟会に加盟した東部合同労働組合二百二十名、横浜合同労働組合百名、時計工組合百名等の退席問題を切掛に、後者の波瀾を経て遂に前記四組合と、関東鉄工組合とを同盟会より除名するに至つた。

之即ち吾上に於て有名なる所謂共産党除名の皮切りである。斯の如くして、現在の関東同盟は、十四組合と、五千の四十九名の組合員とを擁して居る。そして、地域的には東京附近、二十九百四十三名と、野田一千九百十名とが中心となり、郡馬、福島、山梨、埼玉の諸縣に分散する組合を合んでゐる。其産業は釀造、一千九百十名と、金属、千三百三十名とが中心となり、紡織、裁縫、化学工業、交通、宿業並に雜種工業を包含して居る。

### 十三年度関東同盟大會決議の實行に係る事項に就て

一 會旗及徽章統一は直ちに中央本部に提議したが、之は之の経済的關係が甚大なるが故に、尙大した相違もないのであるから自然的に統一するのが尤もよい方法である上